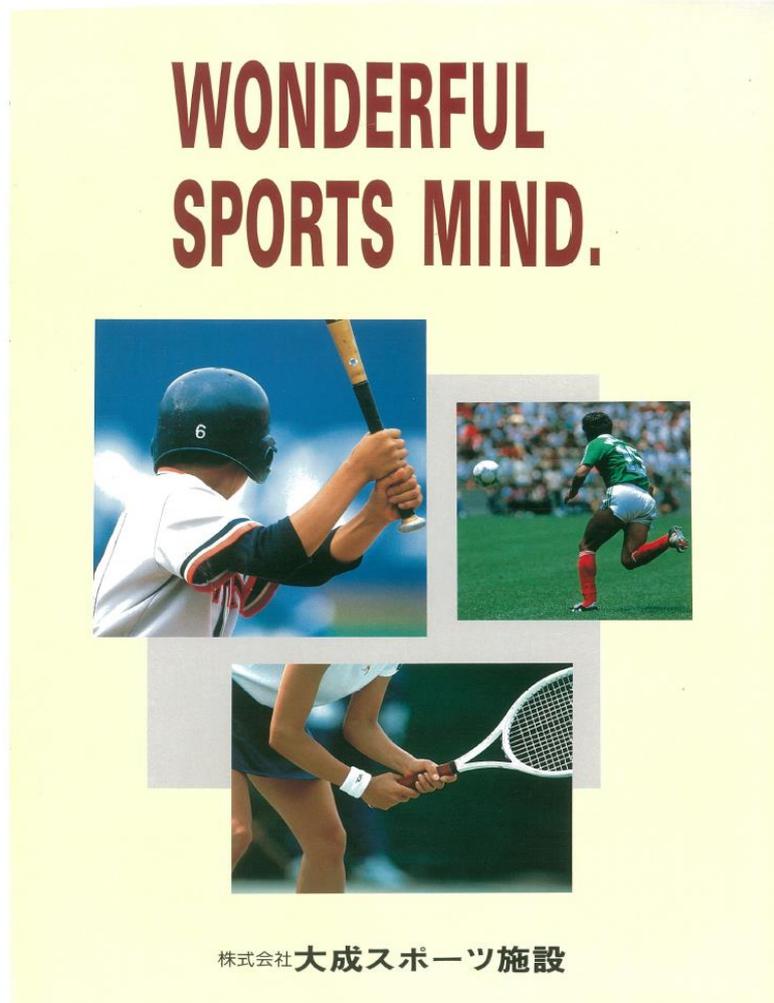




# 株式会社大成スポーツ施設

## 2022 年度 環境経営レポート

(対象期間 2022 年10月1日～2023 年9月30日)



作成日： 2023年10月5日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11

## □ごあいさつ

株式会社大成スポーツ施設はスポーツ施設の設計・施工を主として事業に取り組んでまいりました。

この度当社はエコアクション21に基づき環境経営システムを構築し運用継続することによって地球環境負荷軽減に真摯に取り組む企業として次世代に誇れる豊かな環境創りに貢献していくよう努めて参ります。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

株式会社大成スポーツ施設は、全ての事業活動の実施にあたり、事業活動が環境問題と大きく関わっていることを認識するとともに、環境を保全・創造する会社として活動することを基本理念とし、全組織を挙げて環境に優しいエコ製品の使用及び省エネ施工等により環境負荷の低減に努力していきます。またSDGsにも貢献して参ります。

### <環境保全への行動指針>

1. 電力及び化石燃料の使用を抑え、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 水道水及び廃棄物の削減に努めます。
3. 建設資材の省資源化、改良土壌材の使用促進、建設廃棄物の再資源化に努めます。
4. エコドライブを推進し安全の確保と省エネルギーに努めます。
5. 環境法令を遵守し、環境汚染の防止に努めます。
6. 工事評価点の向上に努めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

当社は環境経営の継続的改善を図ると共にこの方針を全従業員に徹底周知を行ないます。

制定日：2021年9月30日

改定日：

代表取締役社長 **安田 洋一**

## □組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
株式会社大成スポーツ施設  
代表取締役社長 安田 洋一
- (2) 所在地  
本 社 兵庫県神戸市東灘区本庄町1丁目12-6
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 工事部 五百蔵 弘章 TEL : 078-452-7902 FAX : 078-441-2556  
補佐 工事部 藤本 隆之
- (4) 事業内容  
土木工事業 建築工事業 大工工事業 とび・土工工事業 石工工事業 屋根工事業  
タイル・レンガ・ブロック工事業 鋼構造物工事業 舗装工事業 しゅんせつ工事業 塗装工事業  
内装仕上げ工事業 造園工事業 水道施設工事業 解体工事業  
建設許可番号：兵庫県知事 許可 (特-1) 第113795  
許可年月日：令和1年8月20日～令和6年8月19日まで
- (5) 事業の規模  
売上高 26,494 万円 工事件数 42 件
- |                      | 本 社               | 倉庫                |                | 合計 |
|----------------------|-------------------|-------------------|----------------|----|
| 従業員 名                | 5 名               | 0 名               | 名              | 5  |
| 延べ床面積 m <sup>2</sup> | 35 m <sup>2</sup> | 40 m <sup>2</sup> | m <sup>2</sup> | 75 |
- (6) 事業年度 10 月 1 日 ～ 9 月 30 日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社大成スポーツ施設  
対象事業所： 本 社  
対象外： なし  
活動： スポーツ施設の設計・施工(学校運動場の整備・改修、スポーツ施設の人工芝張替え、陸上競技場の改修等)

## □事業や製品(商品)の紹介

主な事業の紹介  
・スポーツ施設工事  
・学校運動場工事

〈改良土壌材による工事〉

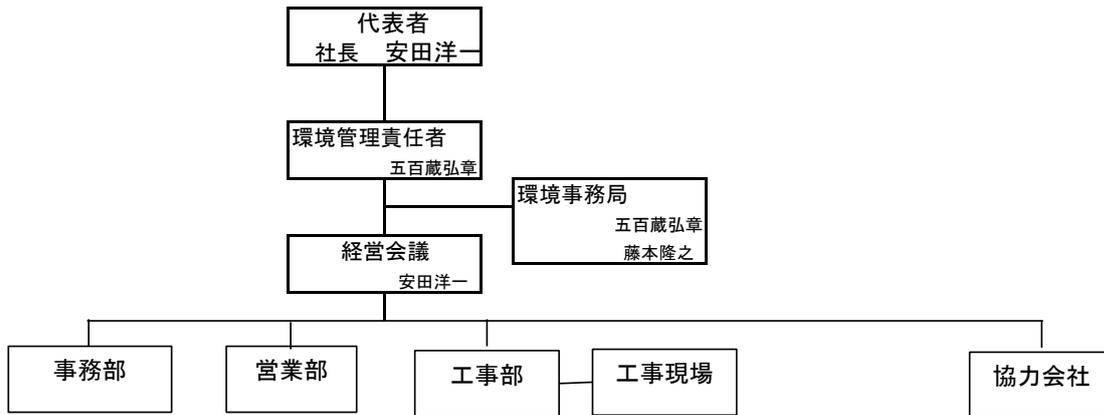


施工例の紹介  
・姫路市立東小学校  
・神戸総合運動公園  
テニスコート人工芝  
張替え工事

〈情報化施工〉



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、経営会議の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
経営会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	27,456	24,153	28,030
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	192	186	186
産業廃棄物排出量	kg	23480	41,230	210,810
水道水使用量	m <sup>3</sup>	37	34	33

※二酸化炭素排出係数 0.351 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力(株)2020年の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

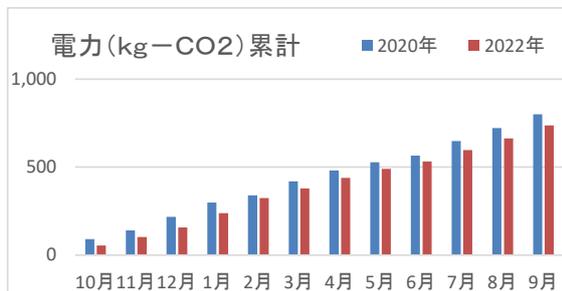
項目	年度	2020年		2022年		評価	2023年	2024年
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)		(目標)	
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	800	784	736	○	776	768	
	基準年度比		98%	92%		97%	96%	
ガソリン燃料 燃費 km/L	kg-CO <sub>2</sub>	5,816		6,136				
	燃費	12.60	12.70	12.92	○	12.75	12.78	
	基準年度比		101%	103%		101.2%	101.5%	
軽油燃料 原単位 kg-CO <sub>2</sub> /万円	kg-CO <sub>2</sub>	20,840		21,158				
	原単位	1.458	1.429	0.799	○	1.414	1.400	
基準年度比			98%	56%		97%	96%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	27,456		28,030				
一般廃棄物の削減	kg	192	188	186	○	186	184	
	基準年度比		98%	97%		97%	96%	
産業廃棄物の削減	kg	23,480	23,010	210,810	×	22,776	22,541	
	基準年度比		98%	898%		97%	96%	
水道水の削減	m <sup>3</sup>	37	36	33	○	36	36	
	基準年度比		98%	89%		97%	96%	
現場環境負荷低減自己 チェック	%		95%	98%	○	95%	95%	
				98%				
改良土壌材の施工面積	m <sup>2</sup>	12,140	12,383	48,419	○	12,504	12,626	
	基準年度比		102%	399%		103%	104%	

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・今年度も不要な機器の電源をこまめに切り節電を意識して活動したので目標を達成できた。 ・次年度も適正な温度管理と不要な照明の消灯により節電を心掛ける
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・ノー残業デーの実施	△	

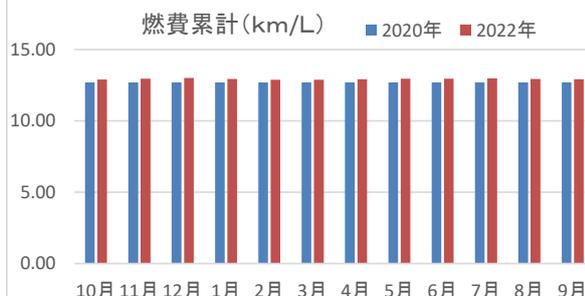


組紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	91	140	217	299	340	419	481	528	566	648	722	800
2022年	54	104	157	238	324	379	438	490	532	597	663	736

ガソリン燃料 燃費	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・夏季、冬季とエアコンの使用度があがり燃費が下がるが、エコドライブを意識して取り組んだ結果、累計で燃費を伸ばすことができた。 ・次年度も継続してエコドライブを意識して運転する。
・アイドリングストップ	○	
・エコドライブの推進	○	

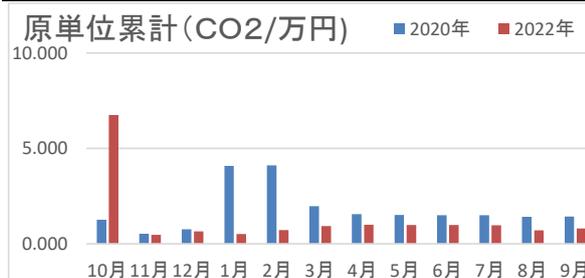


組紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	12.70	12.70	12.70	12.70	12.70	12.70	12.70	12.70	12.70	12.70	12.70	12.70
2022年	12.90	12.97	13.02	12.93	12.88	12.88	12.93	12.95	12.96	12.97	12.95	12.92

軽油燃料 原単位	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・、軽油の使用量は増えたが、売上も基準年度より増加し目標を達成出来た。 ・次年度末も引き続き売上の増加とエコドライブの促進を努力する。
・アイドリングストップ	△	
・作業の効率化	○	
・施工期間短縮	○	

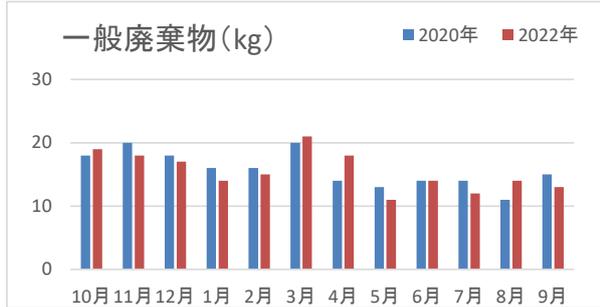


組紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	1.267	0.525	0.756	4.081	4.108	1.973	1.555	1.516	1.497	1.502	1.417	1.429
2022年	6.754	0.465	0.645	0.512	0.715	0.923	0.996	0.988	0.989	0.974	0.711	0.799

<b>一般廃棄物の削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>書類作成や大掃除のため月次目標を達成出来ない時があったが、分別の徹底と再利用を促進したため目標を達成した。</li> <li>今後も分別の徹底と再利用を促進し目標達成に取り組む。</li> </ul>
・分別の徹底	○	
・廃棄物排出量の削減	△	



紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	18	20	18	16	16	20	14	13	14	14	11	15
2022年	19	18	17	14	15	21	18	11	14	12	14	13

<b>産業廃棄物の削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成出来なかった。10月～12月、2月にがれき類と廃プラスチックの産廃を含む工事があり、月次目標より大幅に産廃が発生した。</li> <li>工事を受注できて良かったのが、現場での分別を来年度も努力していきたい。</li> </ul>
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・廃棄物の分別	△	

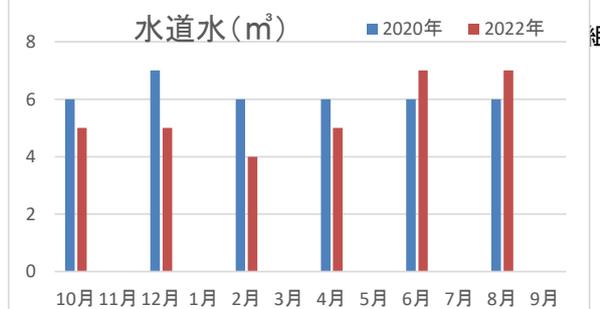


紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	0	1,090	0	0	2,060	3,410	7,940	5,520	30	120	0	3,310
2022年	1,400	56,520	56,970	0	75,820	730	0	180	13,190	1,300	2,450	2,250

<b>水道水の削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月と8月に月次目標を達成出来なかったが、1年を通して節水できたので累計目標は達成できた。</li> <li>次年度も継続的に節水を意識し、こまめな節水を行ない使用量を減らすように努めていく。</li> </ul>
・節水の呼びかけ	○	

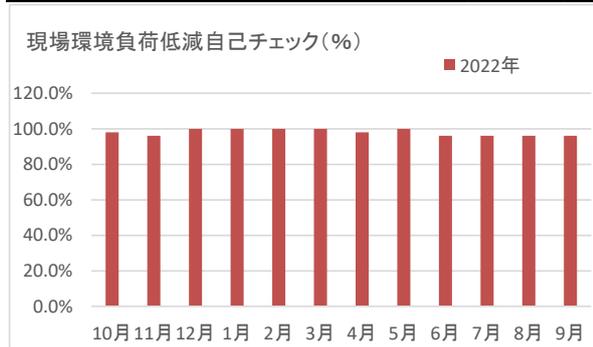


紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	6	0	7	0	6	0	6	0	6	0	6	0
2022年	5	0	5	0	4	0	5	0	7	0	7	0

現場環境負荷低減自己チェック	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・達成出来た。10月、11月、4月、6月と一部出来なかった箇所があり、7月、8月、9月は夏場は熱中症の危険もあり、休憩時に車のエアコンの使用を停めることは難しい状況があり車両のアイドリングストップが出来なかった。とはいえ継続的に自己チェックを行ない現場において目標の95%を維持出来ている。 ・次年度も自己チェックを行ない環境負荷軽減を促進していきたい。
・チェック項目を遵守する	○	

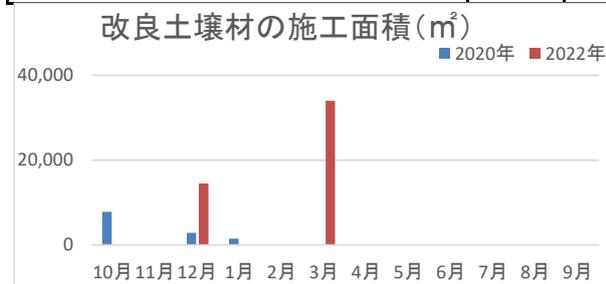


紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	98.0%	96.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.0%	100.0%	96.1%	96.1%	96.1%	96.1%

改良土壌材の施工面積	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・今年度は3件の改良土壌材の工事を受注でき、目標を達成できた。 ・次年度も新たな自治体に改良土壌材を使用してもらえるように営業していく。
・発注先へのPR	△	
・受注を増やす	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	7,800	発注なし	2,860	1,480	発注なし	発注なし	発注なし	発注なし	発注なし	発注なし	発注なし	発注なし
2022年	発注なし	発注なし	14,461	発注なし	発注なし	33,958	発注なし	発注なし	発注なし	発注なし	発注なし	発注なし

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物の委託及び保管基準の遵守・マニフェスト発行
自動車NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用
建設リサイクル法	クレダスに記入し1週間前に提出
家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出（テレビ、エアコン、冷蔵庫）
自動車リサイクル法	事業者の責務（使用済み自動車のリサイクル）
小型家電リサイクル法	使用済み小型電子機器のリサイクル（作業及び詰所の小型家電が対象）
資源有効利用促進法	消費者の責務（使用済みパソコンのリサイクル）
騒音規制法、振動規制法	工事着手1週間前に特定建設作業の届出を提出
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□緊急事態対応訓練**

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2022. 10. 4	■実施場所 倉庫
■参加者： 社員全員	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 避難訓練のマニュアルを従業員で確認した。備え付けの消火器の場所と有効期限を確認し有事の際に備えることができた。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年10月5日

今年度、エコアクション21ガイドラインに基づいて環境経営に取り組むことができた。  
ノー残業デーの実施やエアコンの使用に関して努力したので、二酸化炭素の排出に関しての削減で良い成果を見ることができた。一般廃棄物と水使用に関しても目標を達成することができた。  
産業廃棄物に関しては、昨年度より産廃が含まれる受注工事が増えたことにより、廃棄量が増え目標を達成できなかったが、目標値を混合物の削減に変更して今後も現場での分別や廃棄量の削減の努力を継続していきたい。  
改良土壌材の施工面積に関しては、新たな自治体での施工が出来たのは良かった。工事も3件受注でき目標を達成することが出来た。継続して公共・民間の学校等にPRしていく。  
現場での環境取組みでの環境負荷軽減自己チェックを継続して実施出来た。現場での環境負荷への取組みの明確化や従業員への意識付けという点でも良い影響がでているように感じる。

総評して今年度は産業廃棄物での排出の増加はあったが、良い状態を維持できたので、来年度も継続的に環境経営に取り組んでいきたい。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

## □これまでの環境活動の紹介

### 〈NETIS適合車〉



### 〈社会貢献活動〉



### 〈事務所照明LED〉



### 〈環境教育訓練〉



### 〈防災訓練〉



## □編集後記

今年1年も環境負荷軽減を従業員皆で取組みが出来て少しずつ軽減出来ていることは嬉しかった。改善できる点はまだあると思うので、皆で考え達成感を味わっていききたい。